

四国大学デジタル創生館（仮称）等建設工事 施工者パートナー選定  
公募型プロポーザル 審査要領

1. 趣旨

学校法人四国大学（以下「法人」という。）は、四国大学デジタル創生館（仮称）等の建設にあたり、設計段階から施工者が技術参画するよう、公募型プロポーザル方式により優先交渉権者を選定する。

本要領は、優先交渉権者の選定にあたり、審査に必要な事項について定めるものとする。

2. 審査委員会

優先交渉権者の選定は、四国大学デジタル創生館（仮称）等建設工事施工者パートナー選定公募型プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）において行う。

- (1) 審査委員会は非公開で実施し、提出された技術提案（VE）並びにコスト縮減提案（CD）を審査し、提出者からのプレゼンテーション及びヒアリングにより評価を行うものとする。
- (2) 審査委員会は、行政職員を含めた学識経験者、設計担当者、及び法人職員により構成し、別に定める。
- (3) 審査委員長は、委員の互選により選任し、副委員長は委員長の指名とする。

3. 参加資格の確認

本業務の事務局は、提出された事前登録書や参加表明書から実績・体制について適格性の確認を行う。

4. 技術提案等の評価

- (1) プレゼンテーションの進め方は、実施要領第6に記載の方法を原則とする。  
要領中の「技術提案書等に記載された文章、スケッチ等の範囲」での表現については、静止画像を基本としつつも、施工図にBIM使用予定等の場合は動画イメージ紹介程度は可とする。  
この場合、モニター及びHDMIケーブルは四国大学が準備する。パソコン及びデータは各者が責任を持って動作確認も含め対応すること。
- (2) ヒアリングは、15分のプレゼンテーションとヒアリングで概ね50分程度とし、入替・設営を含め1者あたりの目安は1時間とする。
- (3) 算定各項目の評価は、各審査委員が下記基準で採点し、最後に審査委員会の合議により決定する。
- (4) 留意事項  
参考資料としてプレゼンテーション資料や各種パンフレットの当日配布を希望する場合は、ヒアリング前日の15時を目途に事務局に提示し、了解を得ること。  
当日配布資料の提出部数は10部とし、別途PDFデータを提出すること。  
また、当日の事務的補助等のため必要がある場合は、実施要領第6(3)の人数外として1名程度の入室は可能である。

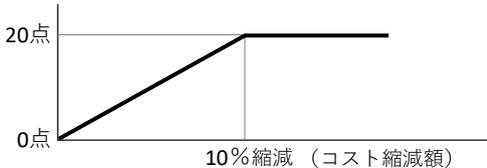
5. 優先交渉権者の選定及び公表

- (1) 優先交渉権者の選定  
審査委員会では、提出者からのプレゼンテーション及びヒアリングにより、最も優れた提案を行った者を優先交渉権者として選定する。
- (2) 優先交渉権者の扱い  
本法人は、審査委員会の選定結果を受けて、優先交渉権者と基本協定及びパートナーシップ協定を結び、事業を推進する。
- (3) 審査結果の公表  
実施要領に則り通知し、翌週を目途に四国大学ホームページに公表する。

6. 評価項目及び評価基準  
【実績評価基準】

項目	評価基準	得点
会社概要	会社の規模・概要・有資格者技術者数及び本業務に対する考え方。	20
会社の工事实績	2000年4月1日以降に竣工した国内の教育施設（アリーナ（体育館）を含む）で概ね7,000㎡以上、またはアリーナ（体育館）単体で概ね4,000㎡以上の新築又は増築工事の設計（技術協力を含む。）若しくは施工実績を有する。	20
	提案方式（DB・ECI・RFI・RFP）（以下「提案方式」という。）における技術協力業務を行った実績を有する。	20
監理技術者、主任技術者の実績	2000年4月1日以降に竣工した国内の教育施設（アリーナ（体育館）を含む）で概ね7,000㎡以上、またはアリーナ（体育館）単体で概ね4,000㎡以上の新築又は増築工事に、設計者（技術協力を含む。）、監理技術者又は主任技術者として従事した実績を有する者を配置予定である。	5
	提案方式における技術協力業務について、設計者（技術協力を含む。）、監理技術者又は主任技術者として従事した実績を有する者を配置予定である。	5
計		70

【評価基準】

項目		評価のポイント	得点		
実績	会社概要 会社の工事実績 監理技術者・主任技術者の実績	【実績評価基準】による	20 40 10	70	
	【テーマ1】 工期に関すること	・開学に向けた工期遵守の体制の構築 ・品質確保の上での合理的施工方針 ・工期の遵守や縮減に寄与する自社独自技術の活用等	40		90
	【テーマ2】 基本設計案（現在案）に関すること	・建築総合、構造設計、設備設計に関する提案 ・施設の維持管理や修繕を容易にするための提案 ・ランニングコスト低減化に向けた提案等	20		
	【テーマ3】 地域貢献に関すること	・県内事業者の活用方法 ・県内事業者からの職人等人材の確保 ・ランニングコスト低減化に向けた提案等	20		
【テーマ4】 その他（自由提案）	・企業の特徴、強み、付加提案など、本件への貢献が期待できる提案や、更なる技術提案等があれば記載	10			
コスト縮減提案	【コスト縮減】 VE/CD提案の全体像	・現状での事業費の認識、縮減可能性の認識 ・VE/CDの提案方針（基本姿勢、考え方、提言等） ・コスト縮減に向けたVE/CDへの積極性、実現性等	40	40	
	【コスト縮減】 VE/CD提案採用後のコスト縮減効果額	※積極的なコスト縮減提案があれば、加点します。（具体的な提案が対象です。） 工事参考価格（実施要項）からの縮減提案額縮減提示額が10%以上の場合、20点加点 0~10%の場合、直線補間で算定（0~20）  ●コスト縮減に対する加点のイメージ 	0 ~ 20	0 ~ 20	
計			(総得点の上限は200点とする)		
			200		